

日本ブラームス協会 第124回 例会

050930

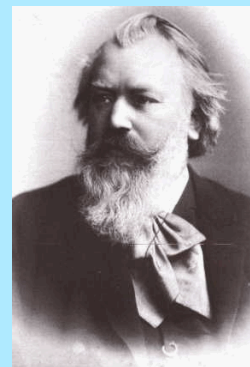
Brahms Gesellschaft Japan Konzert Nr. 124

2005
2006

Deutschland
in Japan
日本における
ドイツ



Brahms



室内楽祭 <TRIOの魅力>

- C・ケックラン / ピアノ、ヴァイオリン、ホルンのための4つの小品
- ブラームス / ホルン三重奏曲 変ホ長調 Op. 40 Horn Trio Es-dur
Vn.福田理貴 Hr.n.猶井正幸 P.江澤聖子
- ブラームス / ピアノ三重奏曲 第3番 ハ短調 Op. 101 Piano Trio c-moll
《ブラームス三重奏団 2005 / Brahms Trio 2005》
Vn.田中晶子 Vc.門脇大樹 P.野田清隆

解説 西原稔 (JBS顧問)



Tanaka



Kadowaki



Noda



Fukuda



Ezawa



Naoi



Nishihara

2005. 12. 4 (日) 3:00pm

会場 **OAGホール** 地下鉄青山一丁目下車 **2:30pm 開場**

チケット **全自由 一般¥3500 学生¥2500**

後援 ドイツ連邦共和国大使館 Botschaft der Bundesrepublik Deutschland
ハンブルク国際ブラームス協会 J・Brahms Gesellschaft Internationale Vereinigung e.V.
アメリカブラームス協会 American Brahms Society

チケット 10/1~ 東京文化会館チケットサービス Tel 03-5815-5452
東京芸術劇場チケットサービス Tel 03-5985-1707
日本ブラームス協会 Tel/Fax 03-3990-0611

主催 日本ブラームス協会 Japan Brahms Society
<http://www3.ocn.ne.jp/~jbs> 新規会員募集中



●田中晶子 (Vn) Tanaka Akiko JBSブラームストリオ 2005 JBS会員

広島県出身。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学卒業。文化庁派遣芸術家在外研究員に選ばれケルン音楽大学に学び、同大学卒業。1994年日本音楽コンクール第3位、1996年日本音楽コンクール第1位。併せてレウカディア賞、鷲見賞、黒柳賞受賞。第16回リピッツァ国際ヴァイオリンコンクールに入賞、最優秀ソナタ賞受賞。第9回エネルギー音楽賞受賞。1995年広島県民文化センターでリサイタルを開催、その後NHK・FMリサイタル出演。広島交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団と共演。ながのアスベン音楽祭、倉敷音楽祭、サイトウ・キネン・フェスティバル等に出演。村上直子、多賀久三、辰巳明子、ザハール・ブロン各氏に師事。

●野田清隆 (P) Noda Kiyotaka JBSブラームストリオ 2005 JBS会員

12歳でピアノを始める。東京藝術大学、大学院修士課程を経て、博士後期課程修了。第4回かながわ音楽コンクール、第64回日本音楽コンクールで第1位受賞。ソロ、コンチェルト、室内楽、歌曲の演奏会に出演するほか、20世紀音楽によるコンサートのプロデュースも手掛ける。ブラームス作品と20世紀音楽を組み合わせた一連のリサイタルを行い、博士号を取得。浜口奈々、K.シルデ、植田克己各氏に師事。現在、東京藝術大学講師。

●門脇大樹 (Vc) Kadowaki Hiroki JBSブラームストリオ 2005 ゲスト

1982年鳥取県生まれ。2005年東京藝術大学卒業。1993年日本クラシック音楽コンクール第1位およびグランプリ。1994年札幌チェロジュニアコンクール優秀賞および山藤賞(審査員特別賞)。2000年京都芸術祭にて毎日新聞社賞。2002年ビバホールチェロコンクール第3位。チェロを柳田耕治、雨田一孝、河野文昭、山崎伸子各氏に、室内楽をゴールドベルク山根美代子、岡山潔の両氏に師事。本年2005年の第74回日本音楽コンクールチェロ部門第3位受賞。

●福田理貴 (Vn) Fukuda Riki JBS会員

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学卒業、桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程修了。選抜されて卒業演奏出演。奨学金を得て「ウィーン・プラハ・ブダペスト夏期アカデミー」参加し、バルトーク弦楽四重奏団やスメタナ弦楽四重奏団に師事。「小澤征爾オペラ・プロジェクト」に参加。倉敷音楽祭に出演した他、とくに室内楽で広範な演奏活動を行い、東京、静岡、富山、大阪、ソウルなど各地の演奏会に出演。日本ブラームス協会にて演奏。東京交響楽団や新日本フィルハーモニー管弦楽団(来年1月より楽団員)等でも活躍。原田幸一郎、店村真積、松田洋子、名倉淑子の各氏に師事。現在、桐朋学園大学音楽学部嘱託演奏員。

●江澤聖子 (P) Ezawa Seiko ゲスト

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科首席卒業。第59回日本音楽コンクールピアノ部門1位入賞。第17回NHK「若い芽のコンサート」においてデビュー。ベルリン国立大学留学、首席卒業。その後、ヨーロッパ各国、米国、メキシコ等で活発な演奏活動を行う。国内ではNHK交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団等としばしば共演。これまでに鈴木静子、深澤亮子、小島準子、クラウス・ヘルヴィッヒ、ジョルジュ・シュボック各氏に師事。現在桐朋学園大学講師、国立音楽大学講師。

●猶井正幸 (Hrn) Naoi Masayuki ゲスト

1969年大阪音楽大学附属高校より桐朋学園大学に入学。同大学にて千葉馨氏に師事。1973年東京交響楽団に入団。1975年より旧西ドイツケルン音楽大学に留学、エーリッヒ・ベンツェル氏に師事する。1977年よりニーダーライン交響団、また1979年よりビーレフェルト・フィルハーモニーオーケストラに在団。1981年から帰国まで7年間、ボン・ベートーヴェンハレ管弦楽団のホルン奏者を勤める。かたわら、ボン木管五重奏団など室内楽でも活躍する。1988~1999年大阪フィルハーモニー交響楽団の首席ホルン奏者を勤め、現在桐朋学園大学助教授として後進の指導にあたる。またサイトウ・キネンオーケストラ、ロニー金管五重奏団のメンバーとしても活動を続けている。

●西原稔 (お話し) Nishihara Minoru JBS顧問

東京芸術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学教授、東京芸術大学非常勤講師。青山学院大学非常勤講師。桐朋学園大学では音楽史各論、シューマン研究、音楽美学概論の講座を担当。著書は音楽の社会史(音楽之友社)、聖なるイメージの音楽(音楽之友社)、ピアノの誕生(講談社)、<楽聖>ベートーヴェンの誕生(平凡社)、その他翻訳、監修など。現在シューマンの批評活動と各ピアノ作品の成立史を研究、その成果を音楽雑誌に連載中。また音楽之友社より「ON BOOK21 シリーズ」で「音楽史ほんとうの話」が8月に、作曲家「人と作品シリーズ」全24巻の「ブラームス」は近々出版の予定。

<2005/2006 Deutschland in Japan>

ブラームスの三重奏曲はピアノトリオが3曲とクラリネットトリオ、ホルントリオの5曲がよく知られています。今回演奏機会の比較的少ないブラームス32歳の作品「ホルントリオ」を最初に取り上げます。演奏はVnにJBSの福田理貴、Pは実力派の江澤聖子、ホルンに永年ドイツで活動された名手猶井正幸の両氏をゲストにお招きします。ホルンの旋律が美しいCharles Koechlin(シャル・ケッラン)の小品もお楽しみ下さい。後半は短いお話しの後、ブラームス53歳の作品「ハ短調ピアノトリオ」をJBS若手会員で構成される《ブラームストリオ》の演奏で聴いていただきます。ベテラン中心のアンサンブルが若き日の作品から「ブラームスの原旋律」を鮮やかに紡ぎだし、若手中心のブラームストリオが晩年の作品に「ブラームスの魂の響」を追い求めます。

企画・制作 日本ブラームス協会 (佐藤、重成、杉田、芳賀、羽木、山田)